

きどがわさんさくろ ぞうせつ 木戸川散策路のベンチ増設について

令和4(2022)年11月18日から同年12月23日まで開催されました、市議会定例会におきまして、市長提出議案14案、議員提出議案4案、市民の方々からご提出頂きました陳情10件が、それぞれ審議・議決されました。以下では今定例会におきまして、はまの太郎が行いました質問の内、木戸川散策路のベンチ増設についてと、商店街街路灯の整備・維持管理について、概要をご報告致します。

①木戸川散策路のベンチ増設について

質問 木戸川は整備されて以降、川沿いの散策路がお散歩やジョギングコースとして利用され、多くの方々が親しみを持たれてご通行されている。しかしご高齢の方などから、ベンチの数が少なく、休憩しづらいとの声が聞かれる。増設についての見解は。

市答弁 木戸川については治水と環境保全を目的に整備を行っており、散策路としても多くの方々にご利用頂いている。ベンチの設置については、ご利用者の状況に合わせ、前向きに検討していく。



(地図データ@2022,Google)

船橋の北東部、松が丘地区と大穴地区の間を流れる木戸川では、かつて大雨による浸水被害がたびたび発生していましたが、平成15(2003)年度から平成28(2016)年度にかけて河川の幅を広げる工事を行ったことで、治水の安全性は格段に向上しました。

また木戸川の改修事業では、治水の安全性向上だけでなく、水質改善によって生き物が生育できる水環境の復元や、散策路や植栽を施すことで親しみの持てる川づくりも目指して来たところです。

改修以降、散策路でのお散歩など多くの方々にご利用頂いておりますが、ベンチの増設を含め、今後も地域の方々により親しみを持ってご利用頂けるよう、取り組んでまいります。

②商店街街路灯の整備・維持管理について

質問 商店街街路灯は夜間に通行する市民の安全・安心に寄与する部分が大いと思う。市は商店街街路灯の電気料補助をしているが、商店街側の自己負担が少なくない現行の補助率は妥当と言えるのか。

市答弁 会員の高齢化や減少により、街路灯の維持が困難になる商店会が増えてきている中、現行の補助率では負担が大いという声はあるので、街路灯管理のあり方を含めた検討が必要と考える。



船橋市では明るい魅力ある商店街環境をつくり、商店街の販売促進と消費者の利便を図ることを目的として、商店街街路灯に関する補助事業を設けています。この内、街路灯の電気料に関する補助金の補助率は、かつては2分の1でしたが、平成22(2010)年度からは省エネ電球化促進のため、3分の2に引き上げられ、現在まで続いてきています。

商店街街路灯は、各商店街のシンボルとして親しまれている一方、他の夜間照明がない道路上では唯一の灯りでもあるため、商店会の方々のご負担・ご尽力によって、通行する方々の安全・安心が守られている部分もございます。各商店会の実情に即して、少しでもご負担を軽減出来る補助制度や管理のあり方に向けて、今後も取り組んでまいります。